

2. 事業実施状況

I 公益目的事業 1 (公1)

《畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填し、経営の安定を図ることで畜産物の安定供給を推進する事業》

1. 肉用子牛の価格差補填に関する事業

1) 肉用子牛生産者補給金制度

(1) 肉用子牛生産者補給金制度 [農畜産業振興機構・佐賀県・地方競馬全国協会]

9,262,800円

(制度の目的)

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、子牛価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付することにより、肉用子牛生産の安定を図る。

(制度の内容)

① 基金造成 (9,262,800円)

生産者補給金の交付財源となる生産者積立金の造成を行った。

なお、基金造成については、個体登録頭数(平成29年1月～12月)が7,611頭で前年対比102.1%となった。

・登録頭数 黒毛和種 7,503頭、交雑種 108頭

・基金造成実績 9,262,800円

・生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品 種	契約 頭数	積立 単価	積立所要額	負 担 区 分		
				農畜産業 振興機構	佐賀県	契約 生産者
黒毛和種	7,503	1,200	9,003,600	4,501,800	2,250,900	2,250,900
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
その他の 肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	0	6,400	0	0	0	0
交雑種	108	2,400	259,200	129,600	64,800	64,800
計	7,611	—	9,262,800	4,631,400	2,315,700	2,315,700

② 補給金交付 (0円)

四半期ごとに告示される平均売買価格が保証基準価格を下回らなかったため補給金の交付はなかった。

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

[農畜産業振興機構・地方競馬全国協会]

8,596,300円

① 補給金制度運営適正化推進事業 (4,648,512円)

(事業の目的)

肉用子牛生産者の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るとともに、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の効率化を図る。

(事業の内容)

- ・事務委託先を対象とした事業説明会の開催
- ・交付事務処理に関する肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売及び保留の確認
- ・契約生産者への調査指導及び事務委託先における事務の実施状況に関する調査指導
- ・統一電算事務処理システムによる業務執行状況の報告
- ・肉用子牛取引情報の収集・報告等の業務
- ・事務委託先及び中央家畜市場へ委託費交付

② 指定協会運営体制支援事業 (3,947,788 円)

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を推進するため運営基盤強化を図り、補給金業務の適正実施に努めた。

2) 肉用牛繁殖経営支援事業 [農畜産業振興機構・地方競馬全国協会]

2,313,448 円

(事業の目的)

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が発動基準を下回った場合に差額の一部を補てんすることにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る。

(事業の内容)

事務委託先を対象とした推進会議による事業説明や現地指導を行った。

なお、四半期ごとに告示される平均売買価格が発動基準を下回らなかったため支援交付金の交付はなかった。

2. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 [農畜産業振興機構・佐賀県・地方競馬全国協会]

1,037,792,689 円

(事業の目的)

肉用牛肥育経営は、もと畜の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費に占めるもと畜費の割合が大きいことから、もと畜価格と枝肉価格の水準によっては大幅な収益性の悪化が懸念される。

このため、契約生産者積立金及び独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金をもって肥育安定基金を造成し、肥育牛補填金を交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図る。

(事業の内容)

1) 肥育牛補填金交付対策 [生産者・佐賀県・農畜産業振興機構] (1,027,068,000 円)

交付契約を締結した肥育牛生産者に対する肥育牛補填金の交付財源として肥育安定基金を造成した。

また、肥育牛1頭当たりの平均粗収益が平均生産費を下回った場合、販売牛に対してその差額の8割を肥育牛補填金として交付した。

・地域基金造成等内訳

(単位：円)

区分	平成 28 年度分 (H29 年 2 月～3 月)	平成 29 年度分 (H29 年 4 月～30 年 1 月)	合計
基金造成実績	168,304,000	858,764,000	1,027,068,000
(うち生産者)	(36,565,550)	(186,413,200)	(222,978,750)
(うち県)	(5,510,450)	(28,277,800)	(33,788,250)
(うち機構)	(126,228,000)	(644,073,000)	(770,301,000)
造成頭数	・肉専用種 3,601 頭 ・交雑種 83 頭 ・乳用種 15 頭	・肉専用種 18,361 頭 ・交雑種 580 頭 ・乳用種 77 頭	
補填金 交付額	4,060,000 ・肉専用種 0 頭 ・交雑種 76 頭 ・乳用種 33 頭	247,333,000 ・肉専用種 6,633 頭 ・交雑種 589 頭 ・乳用種 87 頭	251,393,000

2) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進 [農畜産業振興機構] (10,724,689 円)

肉用牛肥育経営安定特別対策事業を適正かつ円滑に実施するため推進会議による事業説明会や交付事務処理に関する個体識別及び個体登録、販売の確認及び調査指導、普及・啓発の活動等事業推進に努めた。

なお、事務委託先へ委託費を交付した。

II 公益目的事業2（公2）

《畜産経営体に対する経営及び生産技術の改善指導を実施する事業》

1. 畜産経営技術高度化推進事業 [佐賀県・地方競馬全国協会]

3,239,000 円

1) 事業の目的

担い手の育成、経営規模の拡大及び生産技術の改善等の畜産経営の種々の課題に対応するために、関係機関・団体が一体となった指導支援体制を整備し経営診断等の経営支援を行い、畜産農家自らの取組みを基本とした生産性、収益性の高い畜産経営の実現と経営の安定を図る。

2) 事業の内容

(1) 支援チーム検討会の開催（2回）

経営支援の効果を上げるための具体的な支援内容及び手法等を検討するため、関係団体からなる支援チーム検討会を開催した。

(2) 経営診断（47件）

畜産経営における問題点を早期に解決し経営の改善を図るため、畜産農家に対し支援チームによる濃密的な助言・指導（生産技術を中心とした診断または生産技術・財務内容両面からの診断）を実施した。

また、経営診断後の改善状況の確認や診断後に新たに生じた課題等に対応するため事後指導を実施した。

・経営診断の実施状況

(単位:戸)

団体名		診断件数	内訳				
			酪農	繁殖	肥育 (一貫を含む)	採卵鶏	肉用鶏
佐賀県農協	佐城地区	2	0	0	2	0	0
	みどり地区	7	0	3	4	0	0
	白石地区	2	0	2	0	0	0
唐津農協		20	3	8	9	0	0
伊万里市農協		13	0	2	11	0	0
その他		3	0	0	0	1	2
合 計		47	3	15	26	1	2

・畜産指導相談員の配置実績

(単位:人、日)

設置期間	助言指導内容	相談員数	相談活動日数
平成29年4月～ 平成30年3月	対象農家等の経営状況や課題について効果的に指導できる相談員を配置し、経営診断時等に応じた指導や相談活動を実施した。	5	19

2. 畜産特別資金等推進指導事業 [中央畜産会・地方競馬全国協会]

4,204,573 円

1) 事業の目的

新規の畜特資金借入者や既存の借入者の畜産経営の再建を図るため、関係団体からなる支援協議会を構成し改善指導の強化や情報共有を図るとともに、農協等の融資機関への助言指導や経営改善状況を調査し、畜特資金借入への経営改善計画の達成指導等を実施し、畜産経営の安定的な発展を図る。

また、県内の畜産経営の経営状況の把握と経営危機に陥る前の指導支援を目的に、研修会や現地巡回等の支援を実施する。

2) 事業の内容

- (1) 支援協議会の開催 (6回)
- (2) 融資機関への助言指導 (2 融資機関)
- (3) 経営改善状況調査 (1回) 及び定期的な実績点検調査 (2回)
- (4) 経営改善研修会の開催 (6回)
- (5) 経営改善計画の作成・見直し・達成指導

・経営改善計画達成、作成指導及び計画見直し指導

(単位:戸)

区 分		経営改善計画指導				
		作成 指導	見直し 指導	達成指導		
				濃密指導	事後指導	重点農家指導
佐賀県 農協	酪農課	0	2	0	0	2
	佐城地区	0	2	0	0	0
	みどり地区	0	3	0	0	0
	白石地区	0	0	0	0	0
唐津農協		1	4	4	4	5
伊万里市農協		0	1	3	3	3
信連・農林中金 (開拓畜産事協)		1	0	0	0	1
合 計		2	12	7	7	11

Ⅲ 公益目的事業3（公3）

《高能力家畜の導入及び家畜の疾病発生防止対策を徹底するための経費に対して助成を行い生産性の向上を図る事業》

1. 肉用牛生産基盤強化対策事業（肉用牛経営安定対策補完事業）

[農畜産業振興機構・地方競馬全国協会] 47,361,617円

1) 事業の目的

県内の肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、中核的な担い手による優良な繁殖雌牛の計画的な増頭、地域の改良基盤の強化のための遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入及び地域の改良に必要な優良な繁殖雌牛の導入を支援する。

また、繁殖農家の高齢化、多頭化に対応するために肉用牛ヘルパー制度の利用を推進する。

2) 事業の内容

(1) 中核的な担い手育成増頭支援（増頭奨励金の交付）

地域の中核的な担い手が、計画的に優良な繁殖雌牛の増頭する場合に、増頭実績に応じて増頭奨励金（10万円または8万円）を交付した。

・増頭奨励金交付実績 34,380,000円（51戸、358頭）

(2) 優良繁殖雌牛導入支援（導入奨励金の交付）

農協等が地域の改良に必要な優良な繁殖雌牛を導入し、繁殖農家に貸し付ける場合に導入奨励金（5万円または4万円）を交付した。

・導入奨励金交付実績 9,890,000円（67戸、204頭）

(3) 肉用牛振興推進指導（推進会議、現地指導、事務手続き） 3,091,617円

事業を円滑に実施するために、会議の開催、現地指導、補助金交付に係る事務手続き等を実施した。

2. 家畜生産農場清浄化支援対策事業 [農林水産省・地方競馬全国協会]

4,265,699円

1) 事業の目的

牛のヨーネ病、牛ウイルス性下痢・粘膜病（以下「BVD-MD」という）の清浄化対策、牛白血病の感染拡大防止対策を支援するとともに、畜産農場における飼養衛生管理向上に向けた取組み、及びアカバネ病流行防止対策を支援し、畜産の健全な発展に資する。

2) 事業の内容

(1) 疾病清浄化支援対策事業

① ヨーネ病対策

a. 清浄化を図るための検討会の開催。

b. 患畜摘発農場における同居牛等の自主とう汰に係る現地評価調査を実施し、とう汰推進費を交付した。1戸（4頭）

② 牛白血病対策

a. 感染拡大防止を図るための検討会及び講習会を開催した。

③BVD-MD対策

- a. 清浄化を図るための検討会及び講習会を開催した。
- b. P I 牛（持続感染牛）摘発農場において現地評価調査を実施し、とう汰推進費を交付した。 2戸(2頭)

(2) 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止支援対策

①農場飼養衛生管理強化対策

- a. 事業実施のための検討会・講習会を開催し、指導獣医師(11名)を認定した。
- b. 指導獣医師による農場指導を実施した。 (牛110農場)

②疾病流行防止支援対策

- a. ワクチン策定会議を開催し、県内各地域の家畜自衛防疫団体により実施する予防注射について検討した。
- b. アカバネ病ワクチン接種推進及び経費を一部助成した。

・ 予防接種実績 (単位:頭、円)

ワクチン	接種頭数	実績額	実績額のうち補助額	自己負担
牛異常産3混	5,526	10,322,568	707,328	9,615,240

3. 疾病予防事業 [地方競馬全国協会・佐賀県畜産協会]

21,866,440円

1) 事業の目的

家畜伝染性疾病の発生予防と流行防止対策のため、県内各地域の家畜自衛防疫団体により、牛・豚・鶏の家畜伝染性疾病の予防接種を推進する。

2) 事業の内容

(単位:頭、羽、円)

	ワクチン名	接種頭羽数	実績額	備考
牛	イバラキ病	1,786	1,410,940	
	牛5混	1,181	2,326,570	
	牛ヘモフィルス感染症	1,003	1,019,510	
	牛5混・ヘモ混合	5,995	15,416,820	
	牛5混不活化・6混	191	355,260	
豚	豚丹毒(生)	3,772	678,960	
	日脳・豚パルボ	270	220,020	
鶏	ND	233,000	111,300	
	NDIB	309,000	327,030	
	合計		21,866,440	

・予防注射事故対策事業（佐賀県畜産協会） 214,000円

万一の予防注射による家畜の事故が発生した場合に備え、予防注射事故対策要領を設置し当該家畜の所有者に対する支援対策を行っている。平成29年度は、牛の異常産3種混合のワクチン接種後の牛の死亡事故が1件発生し、見舞金を交付した。

4. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 [農林水産省・地方競馬全国協会]

4,384,000円

1) 事業の目的

効果的な牛海綿状脳症（以下「BSE」という）対策を実施するために、BSE検査と死亡牛の円滑な処理を支援する。

2) 事業の内容

(1) 死亡牛検査処理安定化対策 (3,117,000円)

①死亡牛について、発生場所から化製場までの輸送経費の一部を補助した。

②死亡牛の処理経費の一部を補助した。

(対象：県内で死亡した48ヵ月齢以上の牛)

・死亡牛検査処理安定化対策内訳

(単位:頭、円)

区分	実績頭数	単価	補助金額
処理補助	356	7,500	2,670,000
輸送補助	149	3,000	447,000
合計			3,117,000

(2) 事業推進対策（事務費） (1,267,000円)

事業の円滑な推進と普及・指導を実施するため、県、生産者団体、死亡牛獣畜処理業者、輸送業者等で構成する死亡牛適正処理推進協議会を開催した。

5. 家畜防疫互助基金支援事業 [農畜産業振興機構・中央畜産会・地方競馬全国協会]

1,146,085円

1) 事業の目的

口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病が万が一発生した場合、畜産経営への影響を緩和するため、生産者自らが積立を行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに国が補助することにより、発生農場や周辺農場の負担を最小限にとどめ、経営を維持継続できることを目的とする。

〈事業実施期間〉 平成27年度～平成29年度

〈対象疾病〉 口蹄疫・牛疫・牛肺疫・豚コレラ・アフリカ豚コレラ

2) 事業の内容

(1) 家畜防疫互助事業

生産者への事業加入を推進し、加入頭数に応じた生産者積立金を徴収し、基金管理団体（（公社）中央畜産会）へ納付した。

・家畜防疫互助事業加入状況

(単位:戸・頭、円)

区 分	牛	豚
契約戸数	408(2)	36
契約頭数	50,451(360)	61,659
生産者積立金	6,388,170(63,865)	2,584,105
生産者積立金合計	8,972,275 円	

* ()については新規契約等

(2) 家畜防疫互助推進事業 (1,146,085 円)

事業を円滑に推進するため、互助事業推進会議を開催した。

また、生産者及び事務委託先(佐賀県農協・開拓畜産事業協同組合)への事業説明・連絡調整し、事務委託先へ委託費を交付した。

IV その他の事業（相互扶助等事業） 1（他1）

《県内の畜産関連事業組織と連携した県産畜産物の一般消費者への普及啓発並びに畜産振興を推進する事業》

1. 馬事畜産活性化推進助成事業

(1) ・馬事畜産振興推進事業 [馬事畜産振興協議会] 248,000 円

・佐賀県馬事畜産振興協議会 165,000 円

地方競馬（さがけいば）の支援及び畜産生産物の普及・啓発について、畜産団体等が連携して効果的に推進する事業であり、協議会主催による畜産フェアを実施した。

・協議会等の開催（2回）

・畜産フェア（1回）

・交流レース（中央・地方）支援（2回）

(2) 畜産振興補助事業 [地方競馬全国協会]

① 畜産生産性向上促進対策事業

関係機関、関係団体と連携し、生産性の向上に係わる生産技術・衛生対策に関する検討会を開催し、収益性の高い畜産経営の確立に努めた。

② 地域畜産関係情報提供事業

県内イベントにおいて本県家畜飼養の概要や県産畜産物のPRを図り、畜産物の安全・安心への理解と消費拡大を図った。

さらに、ホームページや情報誌等を通して、本県畜産物の生産状況や畜産関連行事・イベント、各種事業等についての情報提供を行った。

③ 地方競馬支援対策事業

公営競馬の健全な運営、発展のため、佐賀競馬場の新規ファンの獲得並びに入場者数の増員を目的として、ホームページや情報誌等を通して競馬情報を発信し、競馬への関心と理解増進を図った。

さらに、安全・安心な県産畜産物のPRのため競馬場において畜産フェアを開催し競馬ファンの県産畜産物に対する意識を高め、消費拡大を図った。

また、円滑な支援活動を行うため関係団体との連絡調整会議を開催した。

・冠レースイベント（1回）

・畜産フェアイベント（1回）

・他団体イベントへの協力（1回）

《福岡県畜産協会・長崎県畜産協会・宮崎県畜産協会・沖縄県畜産振興公社・

鹿児島県馬事畜産振興協議会畜産フェア》

・交流レース（中央・地方）支援（2回）

2. 衛生体制強化基金事業 [中央畜産会]

32,000 円

家畜自衛防疫団体、指定獣医師、県、関係団体等を対象として家畜衛生事業等に関わる説明会を開催し、組織の連携強化に努めた。

3. 馬飼養衛生管理特別対策事業 [中央畜産会]

517,000 円

多様な飼養目的・飼養形態下にある馬飼養実態を把握し、馬飼養衛生管理の向上を図るため、馬飼養実態調査や馬飼養衛生管理技術講習会等を実施した。

(1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会

開催日および場所：[第1回目] 平成29年8月22日（佐賀市）

出席者数：14名

[第2回目] 平成29年12月11日（佐賀市）

出席者数：12名

(2) 飼養衛生管理技術講習会

開催日および場所：平成29年12月11日（佐賀市）

参加者数：19名

演 題	講 師
①馬の飼養衛生管理基準について	①佐賀県中部家畜保健衛生所 岸川 嘉洋 氏
②馬の日常の健康管理について	②鹿児島県 山下牧場 篠原 一記 氏

(3) 獣医療実態調査

調査時期：平成29年9～10月

調査戸数：8戸（県内の馬飼養者）

調査内容：衛生管理状況及び伝染病に関する意識調査

4. 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業 [中央畜産会]

356,000 円

馬の伝染性疾病の清浄化を図るための対策検討会を開催した。

また、競走馬以外（乗用馬等）の馬インフルエンザの発生予防を図るため、馬インフルエンザワクチンの接種を推進し、ワクチン接種に係る経費の一部を助成した。

・馬防疫強化推進対策検討会

開催日および場所：[第1回目] 平成29年8月22日（佐賀市）

出席者数：14名

[第2回目] 平成29年12月11日（佐賀市）

出席者数：12名

・馬インフルエンザワクチン接種推進

（ワクチン接種20頭に対する助成：37,200円）

5. 地域自衛防疫強化特別対策事業 [家畜衛生対策推進協議会]

2,496,000 円

畜産農家における初動防疫が有効に機能する体制を整備するため、地域自衛防疫強化推進のための検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習を実施した。

また、飼養衛生管理基準遵守のための資料を作成し配布及び説明会を開催した。

- ・地域自衛防疫強化推進検討会：5回
- ・防疫演習：9回
- ・地域啓発普及促進委員会：2回
- ・飼養衛生管理基準啓発のための説明会：17回

6. 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業 [中央畜産会]

1,200,000 円

農場における農場 HACCP への取り組み状況を調査するとともに、農場での HACCP 構築について定期的に農場指導を実施して、現地での助言・指導により農場 HACCP システム取組みを支援した。

- ・普及推進協議会開催 1回
- ・地域取組促進活動 2回
- ・構築指導 18回 (2戸〈肉用鶏・肉用牛〉について実施)

7. 肉豚の価格差補填に関する事業 [農畜産業振興機構]

488,300 円

・養豚経営安定対策事業に係る業務委託

養豚経営の安定を図るため、平均粗収益が平均生産費を下回った場合に補填金を交付する事業の業務委託として、県内生産者及び県内各農協等関係機関へ周知及び事業の適正な実施を図るための推進会議及び説明会を開催し円滑な事業推進を図った。

- ・事業推進会議 1回
- ・説明会 3回

8. 貸付事業等指導事業 [畜産近代化リース協会]

297,000 円

畜産経営の近代化・合理化のため、施設や機械等をリースにより導入した借受農家に対し、施設や機械の確認及び管理状況についての調査及び適正な利用についての技術指導等を行った。また、新規開拓によりリース機械施設の利用拡大に努めた。

・貸付機械・施設（搾乳管理機器・飼料生産機械）等の調査及び技術指導

調査場所		調査基数	調査日数
佐賀県農協	佐城地区	12	1
	三神地区	6	1
	みどり地区	3	1
	白石地区	5	1
唐津農協		5	1
開拓畜産事業協同組合		4	1
合計		35	6

9. 県産畜産物ブランド確立対策事業（畜産振興補助事業）〔地方競馬全国協会〕

県産畜産物ブランドの生産基盤を確立するため、家畜の改良、生産技術等を比較検討する機会として、県・市町・農協並びに関係団体との協賛により開催した第24回佐賀県畜産共進会及び農協等が主催する共励会等を支援し、安全・安心で高品質な県産畜産物を安定的に供給することに寄与し、地域畜産の活性化を図った。

10. 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業〔中央畜産会〕

- ・事業実施なし

11. 国産畜産物安心確保等支援事業〔中央畜産会〕

（快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業）

- ・事業実施なし

12. 消費・安全対策交付金事業〔佐賀県〕

豚流行性下痢（PED）のウィルス拡散防止を図るため、農場、と畜場等家畜の集合施設の出入り口における消毒に係る経費を一部負担した事業の管理指導を行った。

13. 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査〔中央畜産会〕

1,705,000円

1) 事業の目的

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、中央畜産会が指定する調査票に沿って、県内の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめ及び窓口業務を実施する。

2) 事業の内容

(1) 全国実態調査（8戸）

368,000円

県内の先進的な経営体等を対象に経営内容等を調査した。

(2) 畜産・酪農収益力強化整備特別事業に係る機械導入推進事業 1,090,000円

畜産クラスター協議会のクラスター計画実現と地域畜産の畜産振興を図るために、畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース事業）に係る佐賀県の窓口団体として、推進会議や参加申請書の取りまとめなど事務手続き等を実施した。

(3) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減対策事業） 247,000円

酪農応援会議の酪農応援計画の実現と地域の酪農振興を図るために、酪農経営体生産性向上緊急対策事業のうち労働負担軽減事業に係る佐賀県の窓口団体として、推進会議や各種申請書の取りまとめなど事務手続き等を実施した。

14. 多様な担い手育成支援事業〔中央畜産会〕

- ・事業実施なし

15. 畜産経営における女子力発揮推進事業 [中央畜産会]

1,547,000 円

畜産を核とした地域活性化には、特に若い女性が積極的に畜産業に携わり、生産振興をけん引できるような高い意識を持つことが重要である。

将来の地域リーダー候補となる女性（肉用牛経営従事者及び県・農協職員）を参集し、飼養技術や経営管理、市況等の勉強会を開催した。

また、他県の女性グループとの交流会に参加することで情報収集及び地域リーダーの自覚を促しグループ化により地域活性化を図った。

- ・勉強会（県内 2回）
- ・女性リーダー候補者との地域間交流会（秋田県・岡山県 2回）

16. 畜産経営における障がい者の参画推進支援事業 [畜産経営支援協議会]

- ・事業実施なし

17. 豚流行性下痢（PED）まん延防止体制支援強化事業 [中央畜産会]

- ・事業実施なし

V その他の事業（相互扶助等事業）2（他2）

《畜産関連事業を実施する団体への支援事業》

1. 任意組織事務受託事業

佐賀県養蜂協同組合、佐賀県養鶏協会、佐賀県養豚協会の事務委託を受け、各種事業の推進に積極的に協力した。

VI 法人業務

1. 畜産関係団体調整機能強化事業 [中央畜産会]

500,000 円

畜産関係団体の連携及び活性化を図り、地方競馬開催の支援促進等を行い、本県畜産の振興に努めた。

2. 各種委託事業の実施

中央団体、金融機関等からの調査依頼等の各種事業を実施した。

3. 会員団体等の諸事業に対する協力

(1) 本協会会員、市町、JAその他各種団体が実施する事業について、これら団体の要請に応じて協力した。

(2) 畜産に関する資料・書籍等の斡旋のほか、講習・研修会等を実施した。